

■トラック 2

では早速…味見の続きを始めましょうか…♪

……んふっ。当然じゃありませんか。

こんな、勃起したおちんちんを見せられて…
サキュバスとして、見過ごすわけにはいかないでしょう？

正直、まだ物足りないなあと思っていたので、好都合です。
こうなったら、限界まで搾り取ってあげますよ…♪

……ん、ああ。
んふふっ…早速、感じちゃってますね？

ね…私の耳舐め、すごいでしょ…？
実はこれ、私の得意技なんですよ。

さっき、あなたも見ましたよね？
私の舌って、とっても長いのでえ…

耳の表面からあ…れるっ、んっ、んれるう…
耳の奥まで…ふふっ、自在に舐められるから…
脳が蕩けちゃうくらい気持ちいいって…評判なんです♪

耳の周りや中まで、こうやってれるれるうって舐めてあげると…
ゾクゾクうってして…すごく、気持ちいいですよ？

まあ…褒めてくれたオス達はもう、この世にはいないんですけど…♪

んっ、ああ…ああ、んっ…。
んふふっ…どんどん、感度上がってきてますねえ？

あ、んっ…耳舐めと私の唾液で、んっ、れるっ、んれるう…
興奮、止まらなくなってきたんでしょう…？

んっ、ああ…おちんちんだって、んふふっ。
びっきびきに反り返って…ああ、んっ…また、
我慢汁お漏らししちゃってますねえ…？

これでは、壊れてしまうのも時間の問題でしょうか…
んれるっ、れるっ…んれるっ、れるううう…。

……あら、威勢がいいですね。
まだ頑張れそうですし、もう少し刺激を追加してみましようか。

んっ、んん…んれるっ、れるう…。
ほら、あなたの好きな手コキですよ？
またいっぱいシコシコしてあげますから…あ、ん。
たっぷり精子作って、魔力を供給してくださいね…？

んあ、ああ…んふふっ。
またそんな声出して…感じすぎじゃありません？
さっきは、あんなこと言ってくせに…
そんなんじゃ、すぐに壊れちゃいますよお…？
んっ、ん、んう…あ、ああ…。

おちんちんの痙攣、止まらなくなってますね？
金玉もキュンキュンして…んあっ、ああ…
精子、上がってきてるんでしょう…？

……ああ…やっぱり、そうですね？

んっ、ああ、んくっ…ねえ、出したいですか？

精子、びゅっ、びゅううって、さっきみたいにいっぱい…
出したいですよねえ…？ んっ、はあ、はあ…。

……んふっ。でも残念、まだダメですよお…？

次は、限界まで…いえ、それ以上に精子を溜めてから、
出してもらいます。

……あらあら、懇願したってダメですよ？

だって、家畜の言うことを聞く主人はいないでしょう…？
んふふふっ…♪

さあ…私が10からカウントダウンしますから…

ゼロになるまで、絶対に射精してはいけませんよ？

もし暴発したら…その時点で、あなたを処分に回しますから…
死にたくなかったら、最後まで我慢してくださいね…？

10, 9, 8, 7…

あ、ああ、んうっ…はあ、はあ…
ああ、すごい…おちんちん、跳ね回ってますねえ。

それに…ふふっ、変な喘ぎ声あげて…滑稽ですね。
気持ちよくなりすぎて、頭がおかしくなっちゃいそうなんでしょう？

でもまだ…まだですよ？
半分も数えてないんですから…
我慢、してくださいねえ…？

6, 5, 4, 3, 2…

ほら、もう一つですよ？
あと一つ数えたら…射精、してもいいですよ…？
はあ、はあ…んっ、あ、ああっ、んっ…。

い——ち…

ゼロお…♪

んっ、んんっ…んふっ、すごい飛距離…んっ、ああ…。

ほら、こっちまで精子が飛んできてますよ…？

んっ、んれるっ、れるう…んっ、あ、ああっ…
んちゅっ、んっ、れるっ、こくっ、ごくんっ…
んっ、あああ…♪

んくっ…んっ、あ、ああっ…はあ、はあ…。

この量、それに魔力量…んっ、ああ…
とっても素晴らしいです…♪

やっぱりあなたは、歴代最高の射精係かも——

……えっ？ う、嘘…

こんな、下等なオスの精子で淫紋が光るはずがっ…。
こ、こうなったら、さっさと壊してしまうしか…

……ふえっ？ い、いえ、あなたには関係ないことです。

そ、そんなことよりっ…
その様子なら、まだ射精出来るんでしょう…？

せっかくですから…

今度は特別なフェラで、あなたを逝かせてあげます…♪

堪能してくださいね…？

んっ、ああ…んれるうう。

んっ、ああ…相変わらず、いい反応しますね？
私のフェラは格別ですから、そうなるのも当然ですけど…

でも、今回はこれだけではありませんよ…？
ほら、これ…私の尻尾、わかりますよね？

次はフェラをしながら、この尻尾であなたのアナルを突いて…
前立腺も一緒に刺激して上げます…♪

さすがのあなたも、そこまでされたら…
耐えられないでしょう…？ んふふっ。

……ほら、尻尾がお尻に近づいていってますよ？
あとちょっとで、お尻の穴に入って…

んっ、あ、ああ…入っちゃいましたねえ…？
これで、アナル処女卒業でしょうか…？ ふふっ。

最初は違和感があるかもしれませんが、
尻尾からも特殊なフェロモンが出てますので…
きっと、すぐに気持ちよくなりますよ。

もう動かしますから…お尻とフェラで気持ちよくなって…
さっさと壊れちゃってくださいねえ…？

…んふっ。
どうやら、早速効いてきたみたいですねえ？
初めてのアナルで、感じてしまうとは…
なんて変態なオスなんでしょう…？ んふふふっ。

……だ、黙りなさいっ。
だから、あなたには関係ないと言っているでしょう…？

別に、淫紋が光ったからと言って、深い意味はありませんっ…。

そんなことよりっ…

今はおちんちんに集中した方がいいですよ…？

油断すると、すぐに暴発してしまうので…

…と、気付いたらもうイきそうですねえ？

前立腺責め、そんなに気に入ったんですかぁ…？

あ、ああ…。

今度はもう、我慢なんてしないでいいですから…

出しなくなったらいつでも射精していいですよぉ…？

初めてのアナル責めで、惨めにケツイキ決めちゃってください…？

ほら、ほらぁっ…出せっ、出せっ…。

んくっ、んっ…んっ、んうううううっ…。

んっ、こくっ、こくっ…ごくっ、んんっ…ぶはぁ。

やっぱりこれ、とっても濃くて…あ、あぁっ…最高ですねえ。

どうです？ さすがにもう、壊れちゃいましたよねえ…？

これが飲めなくなるのは残念ですが、背に腹は…

って、なんでまだ硬くっ…

はぁ、仕方ありませんねっ…

こうなったら、限界まで絞りとってあげますっ…

んっ、んう…んふっ、ふーっ、ふーっ…。

んっ、あ、ああ…なんだか、変な感じ…ど、どうして…

このおちんちんを舐めていると、んあ、ああ…

もっと、欲しくなって…んっ、はぁ、はぁ…

んあぁあむ…。

……は、はぁ？ ふざけないでください。

私がこんなっ…人間のオスのおちんちん舐めて…

発情なんてするわけないでしょう…？

んっ、はぁ、はぁ…。

んくっ、んぶっ…んじゅるっ、んっ、んんっ…！

というか…あなたっ、一体どうなってるんですか…？

さっきから全然、射精止まらないじゃないですかっ…

んくっ、んっ、んううっ…んくっ、ごくっ…。

あ、ああっ…こんな、濃い魔力を注がれたらっ…
んっ、んううっ…ゾクゾク、してしまいますっ…
んあっ、あああっ…あんっ、んんっ…
ごくっ、ごくっ、んっ、あああっ…！

けど、望むところですよ…ちょうど魔力も不足していましたし…
こ、こうなったらもう…全部、飲み干してあげますっ…
んくっ、んっ…ごくっ、ごくっ…んっ、んっ…んううっ…

ぶはああ…はあ、はあ…はあ…んっ、ああ…。
ああ、この精子…本当に美味しい…♪

……あ、あれ？ また、淫紋が反応して…
それに、なんだか身体が熱くなってきたような…ああ、んっ。
どうして、こんなことにっ…

…もしかして、サキュバスを発情させてしまうような、
特殊な力でもあるのでしょうか…

全く…このオスの身体は、どうなってるのでしょうか…
ますます、興味が湧いてきましたね。